産業・ものづくり

Industry & Manufacturing

赤平は小さいです。でも、小さいから、市民の考えが市政に届きます。

赤平は田舎です。でも、札幌まで１時間でいけます。おまけに、田舎だから土地が安いし、渋滞もないです。

赤平は昔、炭鉱があったので知恵と技術のまちです。これからの競争激化の時代、工業にしても農業や商業にしても、知恵と技術で新たな価値を生み出すことが大事です。赤平はそれができます。

できることがある限り負けではありません。赤平は希望に溢れています。

株式会社植松電機　植松 努さん

1 エースラゲージ　2 いたがき　3 空知単板工業　4 北海道加ト吉
5 赤平製紙　6 岡田水産北海道　7 北海道大賀クロージング　8 赤平オーキッド
9 植松電機 ロケット打ち上げ体験

優良企業が集まるものづくりのまち

「鉱業から工業へ」。炭鉱全盛のころから工業団地に道内外の企業を誘致し、多くの工場が操業していました。炭鉱閉山後は市内の産業と雇用を守ろうと、鉱業から工業のまちへの転換がはかられてきました。

市内ではカバンや革製品、トイレットペーパーなどの紙製品、冷凍食品や水産加工食品、衣料品などがつくられています。身近にある名の知れた商品（ブランド）、実は「MADE IN 赤平」かもしれません。

また、コチョウランなどの花卉生産も行われ、らんフェスタや各種行事で華やかさを演出しています。

他にも、精密機械部品や工業用電磁石、単板や建築部材といった木材加工品など、多種多様な製品のいずれもが質の高い技術をもとに生産されています。

「ふるさとガンバレ応援寄附金（ふるさと納税）」で市内企業がつくる製品を返礼品として出品したところ、遠く道外からも寄附の申し出を受け、大変多くの反響をいただきました。

「赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略（地方版総合戦略）」では優良企業・働く場所が市内にあるということが赤平の強みととらえ、「仕事が人を呼び込み、まちをつくる」という考えで、赤平のまちづくりを行っています。

市内ではものづくりの精神を育む取組が盛んに行われています。「産業振興人財育成事業」や「あかびら匠塾（たくみじゅく）」では、市内企業で働く若手職員や技術者が業種の垣根を越えて集まり、技術の向上や広報・プレゼンの方法など、さまざまな研修を深めています。また、子ども対象のものづくり体験会やＰＲ活動を通じて、将来の技術者育成・技術継承に取組んでいます。

元気な企業、元気な人がものづくりのまちを支えています。